

2025.05

あさごエコ通信

朝来市の豊かな自然
“まっど”
スポット紹介



さんとうアウトドアビレッジ第1テントサイト

さんとうアウトドアビレッジ

山東町粟鹿に位置する自然豊かなキャンプ場です。管理棟、研修棟、炊飯棟、テントサイト、ログハウスなどがあり、大変使い勝手がよいアウトドア施設です。夏にはカブトムシやクワガタムシ、運が良ければ国蝶オオムラサキやヤマタカマイマイ、シロマダラなど多くの希少な生き物も観察できます。足場もよく、小さな子どもも安全に遊べるのでぜひ親子で楽しんでください。朝来市民は無料で利用できるのは、とてもうれしいですね。

【利用申込先】西宮市立山東自然の家 ☎ 676-4100



竹田城跡をグリーンにライトアップします!

5月25日(日)の令和7年度朝来市クリーン但馬10万人大作戦と6月5日(日)の「環境の日」に合わせて、5月23日(金)～6月5日(日)まで、竹田城跡が環境のイメージカラーの「グリーン」に染まります。夜景を眺めながら、環境について私たちに出来ることを考えてみませんか?ちなみに、海洋プラごみの約8割は川などをつたって海にたどりついているらしいですよ。



昨年のライトアップの様子

環境フェスタ 2025 出展者募集

朝来市における総合的な環境イベントとして「環境フェスタ2025」を開催します。

8月2日は、講演会や事例発表などを行います。翌8月3日は環境に関するさまざまなブースを設け、総合的に楽しく学べる1日にしたいと思います。環境に関するブース出展者(事業所・団体・個人)を以下のとおり募集します。出展料無料ですので、ぜひご応募ください。

▶日時 8月3日(日) 10時～15時

▶場所 あさご・ささゆりホール

▶募集内容

環境に関するPR(脱炭素、自然再生、資源循環、環境学習など)

▶募集数 3枠(先着順)

▶応募先 市民課環境推進室 ☎ 672-6120

2025.07

あさごエコ通信

朝来市の豊かな自然
“まっど”
スポット紹介



花が散り、青々とした若葉に覆われたソメイヨシノ

竹田城跡とサクラ

晩秋の霧に浮かぶ姿で有名な竹田城跡ですが、春や夏も自然を感じられる魅力があります。周囲の森林は皆伐後再生した二次林で、動植物の生息地として重要です。竹田城跡ではヤマザクラやエドヒガン、カスミザクラが見られ、人口品種のソメイヨシノは約30本植えられています。



近年、サクラなどを枯らす特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」(写真左)が県内で被害を広げており、朝来市への侵入も懸念されています。サクラの保護のため、目撃されたら通報をお願いします。市民の皆さんの力で、朝来市の美しいサクラを守りましょう。

気候変動の観点から 防災について考えてみよう!



近年、温暖化などの気候変動による気象災害の発生が多くなっていることは、誰もが実感するところでしょう。毎年のように各地で夏の異常高温が観測されているほか、豪雨や豪雪などの異常気象による災害が相次いでいます。この近年の温暖化傾向の主な原因は、人為的な温室効果ガスの増加であることが分かっています。温暖化を抑えるためには、一人一人が温暖化問題に関心を持つことが大切です。

また、相次ぐ気象災害ですが、予想が難しい地震とは違い、気象災害は天気予報やニュースなどの情報に接することで、備えることができます。防災の意識で大切なのは、常日頃から「自らの命は自らが守る」「皆と共に助け合う」という意識を持つこと。いつ、どこに、どうやって避難するかを、「マイ避難カード」などを活用して日常的に確認しておくことが大切です。



▶問い合わせ先 市民課環境推進室 ☎ 672-6120
kankyou@city.asago.lg.jp

2025.09

あさごエコ通信

3Rの推進!

プラスチックごみの減量・資源化に
つとめよう!



近年、世界的な話題となっている海洋プラスチックごみ問題。海洋ごみの92%がプラスチックと言われています。軽くて丈夫で、さまざまな使い方ができるプラスチックの多くは「使い捨て」されており、手軽に使える分、手軽に捨てられてしまう面があります。実は、海洋ごみの割合のうち、約8割が陸地から流れてきたもの。海のない朝来市ですが、市内の川から海に流れ込むため、実は身近な問題です。「マイクロプラスチック」と呼ばれる、大きさが5ミリ以下のプラスチックの生き物などへの影響も懸念されています。

マイボトルなどの利用により、使い捨て製品によるごみの排出抑制に取り組み、ペットボトルなど適正なごみの分別を促進する、再生可能な資源から作られている物を活用するなど、限られた資源を循環させましょう。10月からプラスチック製品の分別収集が始まります。ご協力をお願いします。

※3R（スリーアール）とは、
リデュース（Reduce 発生抑制）、
リユース（Reuse 再利用）、
リサイクル（Recycle 再生利用）の頭文字をとった
3つのアクションの総称です。



二酸化炭素排出量 実質ゼロを目指して

ゼロカーボンシティ宣言を行いました!

「あさご環境フェスタ2025」の中で、温室効果ガスである二酸化炭素の排出量を2050年までに実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

気候変動への対策には、温室効果ガスの排出量を削減する「緩和策」と、すでに生じている、あるいは将来予測される気候変動の影響による被害を回避・軽減させる「適応策」の二つがあります。「緩和策」と「適応策」の両輪で進めていくことが重要で、私たち一人一人が生活の中で自分ができることを心がけることが大切です。

まずは、気候変動について知ることから。みんなでゼロカーボンシティの実現を目指しましょう!
※朝来市ゼロカーボンシティ宣言全文はホームページに掲載しています。右記二次元コードからご確認ください。



詳細はこちら

▶問い合わせ先 市民課環境推進室 ☎ 672-6120
kankyou@city.asago.lg.jp

2025.11（原稿（案））

あさごエコ通信

朝来市の豊かな自然
“ホット”
スポット紹介

NO. 03



さのう高原

パラグライダーの発着場として維持管理されている半自然草原です。草原環境は、日本全体で激減しています。令和5年度に実施した「消えた草原調査」の中間結果を見ても朝来市には、かつて72カ所あった草原が、現在4カ所まで減少しています。

その数少ない草原環境の一つである「さのう高原」には、貴重な動植物が生息しています。また、草原に吹く風が草をなびかせる光景は非常に美しく、心を癒してくれます。「豊かな自然」が「地域資源」として、観光や生物多様性に寄与している事例として、この「さのう高原」は、貴重な場所なのです。

地域の宝!

誇るべき豊かな自然を守り活かそう!

なぜ、「生物多様性」を保全しないといけないのでしょうか? そもそも、人は自然の恵みがなければ生きていくことができません。あなたは美味しいフルーツは好きですか? フルーツの多くは、虫が受粉の仲立ちをして初めて実ります。甘いイチミツもミツバチなしでは得られません。シルクの服は、美しく着心地も秀逸ですが、その糸はカイコガの繭から得られるものです。美味しい但馬牛はこれからも食べ続けたいですね。木のぬくもりが感じられる家に住みたい人もいでしょう。新薬の多くも微生物などを研究して開発されています。このように、人が幸せに暮らすには、多くの生き物の恵みが欠かせません。朝来市は約84%が山林で、川や農地を含めれば、さらに豊かな自然が身近にあります。自然を大切にすることは、みなさんの幸せを守り続けることにつながるのです。生物多様性の大切さは、皆さん一人一人に深く関係しています。

現在、生物多様性の大切さを多くの人に知ってもらい、将来の朝来市のあるべき姿を皆さんと分かち合うために計画を作っています。ぜひ、生き物の情報やご意見をお寄せください。皆さんの力で佳い計画を作っていきましょう。



▶問い合わせ先 市民課環境推進室 ☎ 672-6120
kankyou@city.asago.lg.jp